NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞記事を利用して、自己表現力を磨く

2．学校名

北海道苫小牧西高等学校

3．実践者名（代表者名）

浦川　雅智

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

約40人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞記事を利用して、自己表現力を磨く」

7．目標（狙い）

新聞を読むことに対する意欲を喚起し、自らの考えを具体的に表現できることを目的とする。また、社会への関心を高め、入試や面接試験への適応力を身につける。

8．評価の視点

自分の考えを、わかりやすく表現できているか(第三者に伝わる内容か)。
いろいろな角度から物事を捉えることができているか(偏った見方にとらわれていないか)。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

継続的な取り組みではないので、年間指導計画には入れていないが、6月から10月に授業の一部を使い、継続している。1サイクル5回程度の授業を行う(5時間必要という意味ではない)。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞コラムの書き写し
(2)線引きとタイトル付け
(3)社説の要約
(4)まとめと講評(ディベートの実践)
(5)入試問題の取り組み
(留意点)
・ゆっくり、ていねいに作業をすること。
・よく考え、時間を有効に利用すること。
・一つの視点に、とらわれすぎないこと。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

最初は戸惑っている生徒もいたが、繰り返すことで難しい文章を読むことにも慣れた様子だった。なかには、推薦入試の小論文テーマとして出題されたケースもあり、とても役に立つ取り組みだったとの意見もあった。

12．成果と課題

多視点から物事をとらえることの重要性をわかってもらえたと考える。また新聞(特に社説やコラム)を読むことは、自己表現力を磨くために良い教材であることを再確認した。今後は教える側・教わる側双方がもっと楽しめるような展開を考え、NIE教材のバリエーションを増やし工夫していきたいと思う。